



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 第一三共株式会社

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 讓治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 石田 憲昭

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	516,413	6.7	55,666	△2.5	47,011	△5.7	30,832	26.6
25年3月期第2四半期	484,169	6.2	57,076	△8.2	49,862	△24.8	24,356	△34.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 49,638百万円 (386.6%) 25年3月期第2四半期 10,201百万円 (△38.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	43.80	43.72
25年3月期第2四半期	34.60	34.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	1,763,362	944,610	51.7	1,294.30
25年3月期	1,644,071	915,745	53.7	1,253.86

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 911,137百万円 25年3月期 882,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
26年3月期	—	30.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,110,000	11.2	105,000	4.5	90,000	△9.2	65,000	△2.4	92.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、10ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	709,011,343 株	25年3月期	709,011,343 株
26年3月期2Q	5,047,109 株	25年3月期	5,063,530 株
26年3月期2Q	703,953,537 株	25年3月期2Q	703,919,403 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、9ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
【連結業績】	2
【セグメント報告】	3
【研究開発活動】	7
(2) 特記すべき経営課題	8
(3) 財政状態に関する説明	8
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	9
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	10
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	10
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	10
3. 四半期連結財務諸表	11
(1) 四半期連結貸借対照表	11
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	13
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	13
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	14
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	15
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

【連結業績】

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
売上高	484,169	516,413	32,244 6.7%
営業利益	57,076	55,666	△1,409 △2.5%
経常利益	49,862	47,011	△2,850 △5.7%
純利益	24,356	30,832	6,475 26.6%

＜グローバル主力品売上高＞

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

品目	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
オルメサルタン 高血圧症治療剤	120,672	147,536	26,864 22.3%
プラスグレル* 急性冠症候群治療剤	7,484	10,843	3,358 44.9%

*欧米におけるイーライ・リリー社との共同販促収入及び当社の販売地域での売上高の合計

＜研究開発費＞

(単位：百万円。百万円未満切捨て)

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計
研究開発費	87,243	94,895
対売上高比率	18.0%	18.4%

＜主要通貨の日本円への換算レート（期中平均レート）＞

	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計
1米ドル/円	79.42	98.86
1ユーロ/円	100.64	130.01
1インドルピー/円	1.54	1.74

① 売上高

当社グループの当第2四半期連結累計期間（2013年4月1日～9月30日）の売上高は、322億円増収の5,164億円（前年同期比6.7%増）となりました。

ランバクシーグループにおいて高コレステロール血症治療剤アトルバスタチン後発品の独占販売が貢献した前年同期に比し大幅な減収となりました。一方、日本における抗潰瘍剤ネキシウム、アルツハイマー型認知症治療剤メマリー、消炎鎮痛剤ロキソニンテープ、欧米における高血圧症治療剤オルメサルタン、急性冠症候群治療剤プラスグレール等が伸長いたしました。また、円安の寄与もあり、当社グループ全体では増収となりました。

② 営業利益

当第2四半期連結累計期間の営業利益は、14億円減益の557億円（前年同期比2.5%減）となりました。第一三共グループの増益（連結調整前、前年同期比35.7%増）があったものの、ランバクシーグループの減益（連結調整前、前年同期比83.1%減）の影響が大きく、当社グループ全体で減益となりました。

③ 経常利益

当第2四半期連結累計期間の経常利益は、29億円減益の470億円（前年同期比5.7%減）となりました。営業減益に加え、ランバクシーグループにおける為替差損の計上などにより、減益となりました。

④ 純利益

当第2四半期連結累計期間の純利益は、65億円増益の308億円（前年同期比26.6%増）となりました。欧州における事業再編関連の特別損失計上などがあったものの、投資有価証券売却益の計上及び試験研究費の税額控除の増加に伴う税金費用の減少などにより、増益となりました。

【セグメント報告】

① 第一三共グループセグメント

売上高は、510億円増収の4,284億円（前年同期比13.5%増）となりました。

営業利益は、144億円増益の548億円（連結調整前、前年同期比35.7%増）となりました。

a. 日本

日本の売上高は、2,606億円（前年同期比5.7%増）となりました。

国内医薬では、ネキシウム、メマリー、ロキソニンテープなどの伸長が貢献し、売上高は2,265億円（前年同期比6.7%増）となりました。

輸出医薬の売上高は、95億円（前年同期比1.1%増）となりました。

ヘルスケア（OTC事業）の売上高は、229億円（前年同期比0.6%減）となりました。

当期におきましては、2013年6月11日に骨粗鬆症治療剤プラリアを発売いたしました。また、6月19日に北里第一三共ワクチン株式会社が、細胞培養法を用いて製造する新型インフルエンザワクチンの国内における製造販売承認申請を行いました。

＜日本の売上構成＞

(単位：億円。億円未満四捨五入)

区 分	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
国内医薬	2,123	2,265	141 6.7%
輸出医薬	94	95	1 1.1%
ヘルスケア	230	229	△1 △0.6%

＜国内医薬主力品売上高＞

(単位：億円。億円未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
オルメテック 高血圧症治療剤	376	376	△0 △0.0%
ロキソニン 消炎鎮痛剤 (うち ロキソニンテープ)	297 (164)	307 (184)	9 3.1%
ネキシウム 抗潰瘍剤	44	240	196 445.9%
クラビット 合成抗菌剤	165	157	△8 △4.7%
メマリー アルツハイマー型認知症 治療剤	108	144	36 33.7%
アーチスト 高血圧・狭心症・ 慢性心不全治療剤	112	111	△2 △1.4%
メバロチン 高コレステロール血症 治療剤	133	111	△22 △16.4%

b. 北米

北米の売上高は、1,046億円（前年同期比18.1%増）となりました。現地通貨ベースでは10億5千8百万米ドル（前年同期比5.1%減）となりました。

第一三共Inc.において、ウェルコール、エフィエントなどが増収となったものの、ベニカー／ベニカーHCT・エイゾールなどが減収となり、同社の売上高は前年同期並みの8億6千3百万米ドルとなりました。

一方、ルイトポルド社は、ヴェノファー等の売上が減少し、同社の売上高は1億8千5百万米ドル（前年同期比23.0%減）となりました。このため、北米全体では現地通貨ベースで減収となりました。

なお、2013年8月にルイトポルド社が鉄欠乏性貧血治療剤インジェクタファーを発売いたしました。

<第一三共Inc. 主力品売上高>

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
ベニカー／ ベニカーHCT 高血圧症治療剤	448	445	△4 △0.8%
エイゾール 高血圧症治療剤	88	85	△3 △3.2%
トライベンゾール 高血圧症治療剤	39	45	6 15.9%
ウェルコール 高コレステロール血症治療剤・ 2型糖尿病治療剤	195	213	18 9.0%
エフィエント 急性冠症候群治療剤 (共同販促収入)	60	77	17 28.7%

<ルイトポルド・ファーマシューティカルズInc. 主力品売上高>

(単位：百万米ドル。百万米ドル未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
ヴェノファー 貧血治療剤	134	118	△16 △11.8%

c. 欧州

欧州の売上高は、396億円（前年同期比45.0%増）となりました。また現地通貨ベースでは3億5百万ユーロ（前年同期比12.7%増）となりました。オルメテック／オルメテックプラス、セビカーHCTが増収に寄与いたしました。

<第一三共ヨーロッパGmbH主力品売上高>

(単位：百万ユーロ。百万ユーロ未満四捨五入)

製品名	2013年3月期 第2四半期累計	2014年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減
オルメテック／ オルメテックプラス 高血圧症治療剤	145	164	20 13.7%
セビカー 高血圧症治療剤	48	47	△1 △2.6%
セビカーHCT 高血圧症治療剤	19	29	10 53.0%

d. その他の地域

その他の地域の売上高は、235億円（前年同期比57.1%増）となりました。

中国、韓国、ブラジル、ベネズエラにおいて前年を大きく上回る売上伸長を果たしております。

中国においては、オルメサルタンが一層伸長し、また、メバロチン、ロキソニン、鎮咳去痰剤アスメトンも伸長いたしました。なお、当期におきましては、2013年4月に排尿障害改善剤シロドシンを発売いたしました。

韓国、ブラジル、ベネズエラでは、オルメサルタンを中心とする主力品が伸長しております。

② ランバクシーグループセグメント（2013年1月～6月）

売上高は、880億円（前年同期比17.6%減）となりました。

営業利益は、33億円（連結調整前、前年同期比83.1%減）となりました。

インド、東欧・CIS、アフリカ・中東など主要な新興国市場において売上を伸ばしましたが、北米ではアトルバスタチン後発品の独占販売による貢献があった前年同期と対比して大幅な減収となったため、ランバクシーグループ全体としては減収となりました。

＜ランバクシーグループ主要地域別売上高＞

(単位：百万インドルピー)

	2012年 第2四半期累計	2013年 第2四半期累計	対前年同期増減
北米	35,645	15,408	△20,237 △56.8%
インド	10,275	10,853	578 5.6%
東欧・CIS	6,032	6,865	833 13.8%
西ヨーロッパ	4,991	3,975	△1,016 △20.4%
アフリカ・中東	5,099	5,811	712 14.0%

【研究開発活動】

研究開発におきましては、癌・循環代謝・フロンティア領域などを新薬創出の優先領域と定め、外部資源の積極的な活用によりさらなるポートフォリオの拡充に努めております。

① プラスグレル

日本においては、2013年6月18日に経皮的冠動脈形成術(PCI)を伴う虚血性心疾患の適応で製造販売承認申請を行いました。2014年度の発売を見込んでおります。さらに、虚血性脳血管障害患者を対象とした第3相臨床試験を順調に進めており、2015年度に承認申請する予定です。

② エドキサバン

2013年9月に、深部静脈血栓症(DVT)及び肺塞栓症患者(PE)における静脈血栓塞栓症(VTE)の再発予防に関するHokusai-VTE試験の結果を欧州心臓病学会にて発表いたしました。対照薬であるワルファリンに対して有効性で非劣性、安全性において優越性を示すことが出来ました。

さらに、2013年11月に開催される米国心臓協会(AHA)年次学術集会において、心房細動(AF)に伴う血栓塞栓症の予防に関するENGAGE AF-TIMI 48試験の結果を発表する予定です。

両適応に関し、日米欧において、2013年度中に承認申請を行う予定です。

③ デノスマブ

デノスマブは骨代謝に関わる抗体医薬品であり、米国アムジェン社から日本における開発・販売権を取得しております。2012年4月にランマークの製品名で多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変の適応症で発売し、2013年6月11日にプラリアの製品名で骨粗鬆症治療剤として発売いたしました。

また、2013年8月に骨巨細胞腫に関する承認事項一部変更承認申請を行いました。

さらに、乳癌術後補助療法に関するグローバル第3相臨床試験を推進し、関節リウマチに関する国内第3相臨床試験を準備しております。

(2) 特記すべき経営課題

ランバクシーは、2012年1月に米国FDAと同意協定書を締結し、その後、アルン・サウニーCEOをはじめとする経営陣のリーダーシップのもと、品質の大切さを社内に浸透させてまいりました。

しかし、2013年9月16日に、FDAより同社のモハリ工場で生産した製品は米国への輸入を禁止する旨の措置を受けました。モハリ工場は、パオンタサヒブ及びデワスの2工場に加え同意協定書の対象とされることになりました。

この事態を受け、当社は、支援体制を再構築し、FDAの懸念を解消すべく、量的にも質的にもさらに踏み込んだ品質改善に向けた取り組みを強化しております。

(3) 財政状態に関する説明

当第2四半期末における純資産は9,446億円（前期末比289億円増加）、総資産は1兆7,634億円（前期末比1,193億円増加）、自己資本比率は51.7%（前期末53.7%）となりました。

純資産の増加は、四半期純利益の計上や円安による為替換算調整勘定の増加等によるものです。

総資産は、支払債務が減少する一方で、無担保社債の発行及び借入金の増加等により、純資産と比較して増加額は大きくなっております。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2013年7月31日に公表した通期連結業績予想との差異は以下のとおりです。

① 2014年3月期通期連結業績予想数値の修正(2013年4月1日～2014年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,080,000	百万円 110,000	百万円 100,000	百万円 65,000	円 銭 92.34
今回発表予想 (B)	1,110,000	105,000	90,000	65,000	92.33
増減額 (B-A)	30,000	△5,000	△10,000	0	
増減率 (%)	2.8	△4.5	△10.0	0.0	
(ご参考) 前期実績 (2013年3月期)	997,852	100,516	99,147	66,621	94.64

② 修正の理由

売上高は、第一三共グループの増収に加え、ランバクシーグループの決算期変更に伴う15カ月業績(2013年1月1日～2014年3月31日)の連結により、300億円増額の1兆1,100億円といたします。なお、ランバクシーグループの修正通期売上高予想には、従前見込んでおりました米国での独占販売権を有する後発品(FTF品)の売上高は含んでおりません。

営業利益は、引き続き全社的な経費節減に努めますものの、ランバクシーのFTF品の売上高を含まないことに伴う影響を見込み、50億円減額の1,050億円といたします。

経常利益は、営業利益の減少に加え、ランバクシーにおいて第3四半期までの為替差損が発生していることを踏まえ、100億円減額の900億円といたします。

当期純利益は、保有資産の売却による特別利益等を見込み、前回公表と同額の650億円といたします。

(注) 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	160,956	148,746
受取手形及び売掛金	238,495	239,497
有価証券	211,346	304,142
商品及び製品	113,187	120,681
仕掛品	21,830	26,628
原材料及び貯蔵品	39,413	41,410
繰延税金資産	111,118	111,602
その他	49,981	56,378
貸倒引当金	△2,686	△3,016
流動資産合計	943,643	1,046,071
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	138,274	140,219
機械装置及び運搬具(純額)	63,483	63,581
土地	35,789	36,253
建設仮勘定	47,865	55,380
その他(純額)	18,021	20,694
有形固定資産合計	303,434	316,129
無形固定資産		
のれん	73,543	70,303
その他	149,912	149,345
無形固定資産合計	223,455	219,649
投資その他の資産		
投資有価証券	129,186	129,589
繰延税金資産	32,547	39,111
その他	12,140	13,161
貸倒引当金	△337	△349
投資その他の資産合計	173,537	181,512
固定資産合計	700,428	717,291
資産合計	1,644,071	1,763,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,798	64,902
短期借入金	66,073	64,128
1年内償還予定の社債	—	60,000
未払法人税等	23,230	12,266
事業再編損失引当金	—	7,408
返品調整引当金	600	2,289
売上割戻引当金	1,979	2,952
和解費用引当金	43,742	—
環境対策引当金	1,344	—
未払費用	88,989	103,277
その他	150,352	128,295
流動負債合計	436,111	445,522
固定負債		
社債	107,900	88,200
長期借入金	93,017	194,030
繰延税金負債	45,109	46,400
退職給付引当金	13,877	12,183
役員退職慰労引当金	218	243
その他	32,091	32,170
固定負債合計	292,214	373,229
負債合計	728,326	818,752
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,194	105,194
利益剰余金	766,740	776,432
自己株式	△14,460	△14,405
株主資本合計	907,474	917,221
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,211	34,217
繰延ヘッジ損益	937	930
為替換算調整勘定	△59,974	△41,231
その他の包括利益累計額合計	△24,825	△6,083
新株予約権	4,085	4,412
少数株主持分	29,010	29,059
純資産合計	915,745	944,610
負債純資産合計	1,644,071	1,763,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	484,169	516,413
売上原価	143,819	166,516
売上総利益	340,350	349,896
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	44,271	50,238
給料手当及び賞与	55,777	62,484
退職給付費用	4,672	6,953
研究開発費	87,243	94,895
その他	91,308	79,658
販売費及び一般管理費合計	283,273	294,230
営業利益	57,076	55,666
営業外収益		
受取利息	2,224	1,928
受取配当金	1,218	1,213
デリバティブ評価益	—	3,088
その他	1,544	1,215
営業外収益合計	4,987	7,446
営業外費用		
支払利息	2,492	2,417
持分法による投資損失	372	479
為替差損	6,869	11,612
デリバティブ評価損	1,477	—
その他	988	1,591
営業外費用合計	12,201	16,100
経常利益	49,862	47,011
特別利益		
固定資産売却益	2,480	2,929
投資有価証券売却益	—	3,810
その他	14	870
特別利益合計	2,494	7,610
特別損失		
固定資産処分損	883	735
減損損失	3,855	349
事業再編損	758	10,755
投資有価証券評価損	1,283	152
環境対策費	24	133
投資有価証券売却損	149	—
たな卸資産廃棄損	104	—
その他	95	265
特別損失合計	7,154	12,393
税金等調整前四半期純利益	45,201	42,228
法人税等	19,758	13,359
少数株主損益調整前四半期純利益	25,443	28,869
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1,086	△1,963
四半期純利益	24,356	30,832

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	25,443	28,869
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	384	0
繰延ヘッジ損益	582	△10
為替換算調整勘定	△16,124	20,753
持分法適用会社に対する持分相当額	△85	25
その他の包括利益合計	△15,242	20,768
四半期包括利益	10,201	49,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,081	49,562
少数株主に係る四半期包括利益	1,119	75

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	377,408	106,760	484,169
セグメント間の内部売上高又は振替高	618	974	1,593
計	378,027	107,734	485,762
セグメント利益	36,270	11,947	48,217

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	48,217
取得原価配分額の償却	△1,402
のれんの償却額	△1,204
セグメント間取引消去	△243
その他の連結調整	△165
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	45,201

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	428,428	87,984	516,413
セグメント間の内部売上高又は振替高	778	636	1,414
計	429,207	88,620	517,828
セグメント利益又は損失(△)	49,879	△7,273	42,606

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	42,606
取得原価配分額の償却	△1,584
のれんの償却額	△1,201
セグメント間取引消去	255
その他の連結調整	2,153
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	42,228